

事業概要シート

施策： 効率的な行政運営の推進

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 大村市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	拡充	予算額	11,364 千円
			《 10,136千円 》
財源内訳		国庫支出金	0 千円
		県支出金	0 千円
		地方債	0 千円
		その他	0 千円
		一般財源	11,364 千円

【事業の目的・概要・対象】

(目的)

平成27年に策定した「大村市人口ビジョン」及び「大村市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、本市の魅力効果を効果的に発信し、定住や観光に繋げる。

(概要)

総合戦略を推進するためには、広く市民や産学金労などの関係者から意見を聴取し、実状に沿った地域独自の取組を行うとともに、事業の効果検証を踏まえ、より効果的な取組を行う必要がある。このため、産業や行政、学校、金融機関、労働団体、メディア等の委員で構成する「大村市まち・ひと・しごと創生検討委員会」を設置し、意見聴取や効果検証を行う。

また、外部人材を招へいし、総合戦略の積極的な推進を図る。

(対象)

市民

(拡充事業の概要)

- ・総合戦略推進のための調査研究旅費の増
- ・事業構想大学院大学と連携した民間事業者による大村湾活性化のための新たな事業構想プロジェクト研究への委託費新設

大村市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

大村市まち・ひと・しごと創生検討委員

■市民や産学金労言などの関係者による、地方創生総合戦略の効果検証

地方創生ジェネラルマネージャー

■外部人材を活用した地方創生関連事業の推進

【背景】

長崎県の人口が減少する中において、本市の人口も減少に転じることが予測されるため、本市の特色を活かした独自性ある総合戦略を推進し、将来にわたって活力ある地域としていく必要がある。

担当課	企画政策部地方創生課	問合せ先	0957-53-4111 (内線286)
-----	------------	------	----------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	大村市まち・ひと・しごと創生検討委員会の開催回数	目標値 回	3	3	3	3	3
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	国勢調査人口 (2025年に人口10万人を達成)	目標値 人	93342	-	-	-	-
②		目標値					

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費		5,506	9,063	10,136	11,364	11,364	47,433
国庫支出金		5,506	0	0	0	0	5,506
県支出金		0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0
一般財源		0	9,063	10,136	11,364	11,364	41,927
人件費		9,122	6,857	4,450	4,450	4,450	29,329
職員		1.25人	0.90人	0.55人	0.55人	0.55人	3.80人
時間外勤務		153h	156h	40h	40h	40h	429h
嘱託員		0.00人	0.00人	20.00人	20.00人	20.00人	60.00人
フルコスト	0	14,628	15,920	14,586	15,814	15,814	76,762

妥当性 (市の関与)	2060年までを見据えた人口ビジョンを踏まえ長期的な人口対策を行っていくためには、行政が主体的に取り組む必要がある。
有効性 (施策貢献度)	総合戦略を推進することにより、人口増加や望ましい人口構造の確立を図ることができ る。 また、効率・効果的な行政運営を図り、最大の効果を上げるためには、市及び市民が一丸 となって取り組む総合戦略が必要となる。
効率性 (コスト)	必要最小限の費用で事業を行うため、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり